

塩原等東京大学准教授講演会ご案内
「鉄筋コンクリート柱梁接合部の耐震性」
－見逃された接合部破壊の発見とその影響－

各 位

主催 日本建築構造技術者協会中国支部

共催 日本建築学会中国支部構造委員会

日本E R I株式会社

拝啓、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

(社)日本建築構造技術者協会中国支部では、このたび「鉄筋コンクリート柱梁接合部の耐震性」と題して塩原等東京大学准教授による講演会を開催いたします。

塩原先生は、鉄筋コンクリート構造の耐震設計における従来の知見と異なり、柱と梁の強度の比が一般的な構造設計の目標値とされる 1.0 ～ 1.5 では、主筋量によらず柱と梁の交差部が破壊し、建物が従来の予測を下回る耐震性能しか発揮しない現象を発見し理論的に解明され、本年度の日本建築学会賞（論文）を受賞されております。

この問題に対し構造設計者がどのように対処すべきか考える良い機会です。参加希望の方は別紙申込事項を記入して、F A Xにてお申し込みください。

シンポジウム終了後、懇親会を予定しています。

敬具

記

1. 日時 : 11月18日(金) 15:00-17:00
2. 会場 : 広島工業大学広島校舎 201 室 (広島市中区中島町 5-7、TEL : 082-249-1251)
3. 講師 : 塩原等東京大学准教授
4. テーマ : 鉄筋コンクリート柱梁接合部の耐震性
副題 : - 見逃された接合部破壊の発見とその影響 - (東日本大震災の被災状況等)
5. 定員 : 80 名 (定員になり次第受付を終了します。)
6. 講演会参加費 : 会員 ¥2,000 (共催の日本建築学会会員も含む) 非会員 ¥3,000
7. 懇親会 : 参加申込書を確認ください。

